

OS交配

●ハウス● 8月～3月播き ◎越冬・促成・半促成・無加温

キュウリ

かっぱん
強し

千秀2号

褐斑病に強い 省力性 ツヤ系秀品多収品種



つる下ろし栽培(側枝ストレート等)
摘芯栽培での半放任がしやすい



株式
会社

埼玉原種育成会



OS
交配

干秀2号

特性と栽培のポイント

特性

旺盛で充実した生育をしながらも、果実の連続肥大性に優れるため、側枝を利用したつる下し栽培に適し、および摘芯栽培においては中後半の省力化が図れる。短日・弱光線・低温期には雌花率が高く安定し、徒長しにくい特性から高位安定した収量が得られる。

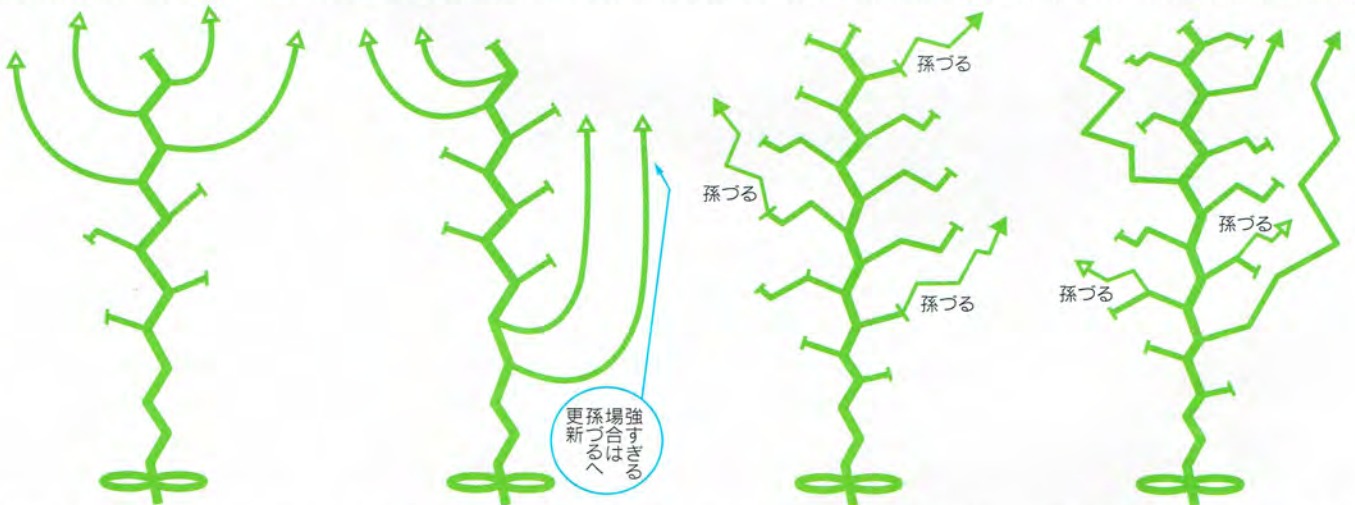
適作型	ハウス:8月~3月播き(東北:7月~3月播き)
主枝雌花率	9月播き 主枝:30% 側枝:50%から100%と高まる 11月播き以降 主枝:80% 側枝:80%から100%
茎	太さ・節間長とも中位
葉	濃緑色で やや大きめ
草勢	やや強い
果実	濃緑色で光沢良好 円筒形21~22cm
収量	シーズンを通して収量安定し総収量多く、秀品率高い。特につる下し枝からの収量が安定している
耐病性	茎葉が充実しているため総合的に病気にかかりにくい 褐斑病に強い

栽培のポイント

- 定植から活着、伸び盛り、収穫始まるまでは基本的な肥培管理で、徒長させずに旺盛な生育を図る。
- つる下し栽培の場合、作型や栽培環境を考え、仕立て方を選択する。
- 摘芯栽培の場合、主枝果実~側枝果実の連続肥大時期までの草勢に合わせて、摘芯の強弱を考慮する。
- つる下し枝からの果実連続肥大時期になったら、草勢維持のための管理に移行する。
- ブルームレス台木は、OS交配ゆうゆう一輝(黒タイプ)、オールスター一輝、アト一輝、FGYが適する。
- ブルーム台木では、ウルトラ南瓜、ウルトラG南瓜、クロダネBLACK21が適する。

仕立て方の例

連続肥大性が優れ、側枝ストレートでのつる下し栽培が基本だが、作型や栽培環境によっては強草勢となり、つる下し枝のコントロールが利きにくい場合もある。草勢が明らかに強く果実を引きずるような場合は孫づるへの更新を検討する。



①主枝を12~14節で摘芯し、上段より子づる4本を力枝とし、ストレートのつる下し。

②主枝を12~14節で摘芯し、下段と上段から子づる2本ずつ力枝とし、ストレートのつる下し。ただし、下段の子づるが強すぎる場合は6~8節で摘芯し孫づるへの更新も検討する。

③摘芯栽培の仕立て方-その1
草勢強く生育し、順調な子づるが発生する場合は、孫づる以降を半放任する。

④摘芯栽培の仕立て方-その2
草勢がおとなしい場合、中~上段に摘芯せずに誘引枝を1~2本確保し、その他の子づるは摘芯し、孫づる以降は半放任。



きゅうり・かぼちゃ・メロン 育成元
株式会社 埼玉原種育成会
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)0854(代) FAX.0480(85)0407



OS交配種子 発売元
株式会社シード
〒346-0105 埼玉県久喜市菖蒲町新堀2616
TEL.0480(85)7211(代) FAX.0480(85)0407